

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 29-019

PDCA	事務事業名	福祉文化会館自主文化事業	部課等名	教育部 生涯学習課 施設担当	担当	藤本 三	内線等	23-7331	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち							
		節： 第2節 生涯学習の推進							
		基本施策： 3. 文化の継承と創造							
		単位施策： (2) 文化の振興							
	根拠法令等	文化芸術振興基本法							
	対象・目的	優れた舞台芸術を鑑賞する機会を創出し、市民の文化芸術の意識高揚を図る。							
	目的を達成するための手段・活動内容	半田市福祉文化会館（雁宿ホール）において、質の高い芸術・文化事業等の鑑賞事業を行う。							
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位		
		①自主文化事業公演数		2	1	1	件		
		②自主文化事業鑑賞者数		974	352	1,976	人		
		③							
		事業費		9,885	1,710	9,953	千円		
		人件費		3,812	2,982	2,498	千円		
		総事業費		13,697	4,692	12,451	千円		
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位		
	成 果	①親子・子ども向け事業		—			千円		
		②一般向け事業		9,885	1,710	9,953	千円		
		③文化講演会		—			千円		
		成果指標		28年度	29年度	30年度	単位		
		①事業費に占める入場料の割合		実績値	24.8	63.5	108.9	%	
		目標値		100	100	100			
②公演内容の満足度が「良好」の割合		実績値	77.5	84.6	100	%			
目標値		80	82	85					
③		実績値							
目標値									
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性			
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない		
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更			
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない		
	事業の評価・課題	B							
		7月27日に八代目中村芝翫翫らが出演する松竹大歌舞伎（人情噺文七元結・棒しばり）を2部（昼・夜）で開催した。事業費に対して、チケット販売等収入が上回り黒字になった。また、終演後のアンケートでは、ほぼ100%のお客様が満足していただいた。 本年度は、（公社）全国公立文化施設協会の支援を受けて、同協会が主催する松竹大歌舞伎を誘致することができた。しかし、文化会館が主催して、このように人気があり、採算がとれる自主文化事業を開催することは困難である。							
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	終了						
			文化会館が主催する自主文化事業は廃止するが、雁宿ホール（大ホール）を文化の発信拠点として、積極的に活用する。令和元年度は文化振興事業において、愛知芸術劇場との共催による「レクチャー&オペラ上演」やファミリープログラム、市民参加型の公演などを計画してる。また、平成30年度に実施した「野村万作・萬斎狂言の世界」のようにプロモーターとの共催事業も取り組む。 このため、生涯学習課の職員が公演等を鑑賞する機会を設け、職員が積極的に文化振興を学べる体制を整える。そして、職員が見聞を広げることによって、半田市として特色のある事業展開ができるようになる。						
		令和元年度の目標	成果指標				目標値	単位	